

第1回筑波研究教育機構（仮称）構想協議会議事要旨

I 日 時 令和8年6月8日（月）16:30-18:00

II 会 場 つくば国際会議場 大会議室 101

III 出席機関

〔筑波研究教育機構（仮称）構想協議会参画機関〕

気象庁気象研究所

国土交通省国土技術政策総合研究所

物質・材料研究機構

産業技術総合研究所

農業・食品産業技術総合研究機構

防災科学技術研究所

理化学研究所バイオリソース研究センター

国際農林水産業研究センター

宇宙航空研究開発機構

森林研究・整備機構

建築研究所

土木研究所

日本原子力研究開発機構

量子科学技術研究開発機構

国立がん研究センター東病院

高エネルギー加速器研究機構

国立科学博物館

日本スポーツ振興センターハイパフォーマンススポーツセンター

医薬品医療機器総合機構

国立健康危機管理研究機構

東京都医学総合研究所

エーザイ（株）筑波研究所

NTT（株）物性科学基礎研究所

筑波大学

〔オブザーバー〕

つくばグローバル・イノベーション推進機構

IV 議 題

- (1) 筑波研究教育機構（仮称）構想協議会の運営について
- (2) 新たな共創体の設立について
- (3) 今後のスケジュールについて
- (4) その他

V 議 事

1 筑波研究教育機構（仮称）構想協議会の運営について

筑波研究教育機構（仮称）構想協議会の事務局を務める筑波大学から、資料に基づき説明があり、審議の結果、承認された。

なお、議長は事務局を所管する国立大学法人筑波大学の長をもって充てることとなった。また、議長に事故があった時に議長を代行する者として、議長より、筑波大学の加藤光保理事・プロボストが指名された。

さらに、筑波大学から、オブザーバーとしての参加を希望している研究機関について、次回以降、会議の案内を送付したい旨の説明があり、異議なく了承された。

2 新たな共創体の設立について

筑波大学から、資料に基づき説明があり、意見交換が行われた。各参画機関からは以下のような観点からの質問や意見があった。

- 共創体として受入れを想定する予算について
- オープンファシリティや研究インテグリティ・研究セキュリティに関する協働の具体的なイメージについて
- 研究者以外の高度な技術者の育成について
- 日本全体のスケールで大学と国研の間の連携を進める上で重要な観点の明確化について
- 筑波研究学園都市全体の国際的プレゼンスの向上とそれによる世界からの優秀な人材や資金の獲得を実現するためのロジックについて
- 共創体に取り組む施策についての KPI の設定について
- 各機関が有する設備等のアセットに関する情報の共有について
- 概算要求への反映について
- 国に対する法整備等の要望体制について
- 生成 AI を活用した産学連携マッチングシステム（Bibbidi）の活用について
- 複数機関（三機関以上）の連携によるクロスアポイントメントや連携大学院の実施可能性について
- グローバルに優秀な人材を集める際に重要となるつくばの住みやすさを向上させるための自治体との関係について
- つくばにおける組織を超えた協働の現状について

3 今後のスケジュールについて

筑波大学から、資料に基づき説明があった。

4 その他

筑波大学から、筑波研究教育機構（仮称）構想協議会参画機関との間で共同研究を組成するための大学予算を確保しており、今後募集を行う予定である旨の報告があった。

以上